

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので、結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるカレニア・ミキモイが最大1細胞/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最大4細胞/ml、プロロセントラム属が最大3細胞/ml確認されました。今後、細胞数の急激な増加によっては、飼育魚のへい死の可能性も考えられるため、海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また、連日続く猛暑の影響で、赤潮や溶存酸素の低下も考えられますので、飼育魚の状態には、十分注視してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、海水1mlのプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ミキモイ	ヘテロシグマ アカシオ	プロロセントラム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ ml)		
<b>藻津①(別図⑨)</b> 採水時間 09:53 透明度 - m	3.0	29.2	31.9	7.4	0	1	0
<b>大島中央①(別図⑤)</b> 採水時間 10:10 透明度 - m	10.0	26.7	32.8	7.1	1	4	1
<b>小筑紫中央①(別図⑬)</b> 採水時間 10:20 透明度 - m	15.0	25.7	33.0	5.3	0	3	0
<b>栄喜奥(別図②)</b> 採水時間 10:40 透明度 - m	5.0	-	-	-	0	0	0
<b>青瀬山(別図③)</b> 採水時間 10:47 透明度 - m	5.0	-	-	-	0	0	1
<b>弘浦②(別図①)</b> 採水時間 10:58 透明度 - m	5.0	-	-	-	0	1	3

「赤潮・貝毒プランクトンの調査について」は当所ホームページ内の

「宿毛湾赤潮情報」(URL : <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040406/akasio.html>)においてもご覧いただけます。